Season4 Epsode1

Elevating Industry Standards: The Launch of OASIS Insights

**IAQGポッドキャスト「新ツール『OASISインサイト』導入」の概要**

このポッドキャストでは、IAQG会長のエリック・ジェフリーズ氏とデジタル担当のグレッグ・フォンテーヌ氏が、航空宇宙産業の品質監査データベース「OASIS」にまもなく導入される画期的な新ツール\*\*「OASISインサイト」\*\*について、その目的、機能、導入計画を解説しました。

**【OASISインサイトとは？】**

OASISインサイトは、監査後に自動生成される**パフォーマンス分析レポートツール**です。その目的は、従来の「不適合（NCR）が何件あったか」という報告にとどまらず、監査結果に客観的な\*\*背景情報（コンテクスト）\*\*を与えることです。

* **ベンチマーキング機能:** 自社の監査パフォーマンスを、同業他社や類似の組織と比較し、業界内での立ち位置を明確に把握できます。
* **パフォーマンスの可視化:** 長期的なパフォーマンス履歴を追跡・表示し、継続的な改善が必要な領域を特定するのに役立ちます。

**【主な対象者とメリット】**

このツールは、業界の様々な関係者にメリットをもたらします。

* **認証取得企業:** 自社の品質マネジメントシステムの強みと弱みを客観的に理解できます。
* **顧客企業（サプライヤー管理者）:** サプライヤーのパフォーマンスについて、これまで得られなかった深い洞察を得ることができ、サプライチェーン管理に活用できます。
* **認証機関:** 認証対象企業のリスク評価の精度を高め、監査活動の最適化に役立ちます。

**【改善活動への直接的な貢献】**

OASISインサイトの最も画期的な点の一つは、**監査結果と改善リソースを直結させる**ことです。レポート内で指摘された不適合事項に対し、IAQGが提供する以下の改善ツールへ直接リンクします。

* **AIMM** (航空宇宙改善成熟度モデル)
* **SCMH** (サプライチェーンマネジメントハンドブック)

これにより、組織は改善策を自力で探すだけでなく、業界のベストプラクティスに基づいた具体的な行動を迅速に起こすことが可能になります。

**【導入計画と今後の展望】**

* **導入方法:** 監査完了後、**全認証組織に自動的に提供**されます。事前の申し込みや準備は不要です。
* **費用:** 現時点でOASISインサイト単体での料金は発生しません。将来的には他のデジタルサービスと合わせた料金体系が検討されています。
* **アクセス:** 当初は認証組織のみが自社のOASISファイルエリアで閲覧可能ですが、将来的には顧客企業などもアクセスできるようになる予定です。
* **将来のバージョンアップ:** 今回のリリースは第一歩に過ぎません。今後も継続的な改良が予定されており、次期バージョンでは不適合の重要度を考慮した\*\*「リスク評価」（赤・黄・緑などの色分け表示）機能\*\*の追加が検討されています。

**【結論】**

OASISインサイトは、これまで蓄積されてきたOASISの膨大な監査データを活用し、業界全体の継続的改善を推進するための戦略的なツールです。これはIAQGが進めるデジタル化プロジェクトの始まりであり、今後のさらなる発展が期待されます。

|  |  |
| --- | --- |
| 話者 | 和訳文 |
| Susan Matson | 皆さん、こんにちは。司会のスーザンマトソンです。本日はエリックジェフリーズ氏とグレッグフォンテーヌ氏にもご一緒いただいています。エリック氏はIAQGの会長です。また、ベルテクストロン社に23年以上勤務し、品質保証、企業コンプライアンス、政府財産、品質検査などの複数の役職を歴任しています。グレッグ氏はジャスパーインタラクティブ社のパートナーであり、IAQGデジタルフォーカルポイントでもあります。皆さん、番組へようこそ。 |
| Eric Jefferies | ありがとうございます。 |
| Susan Matson | どういたしまして。さて、今日は本当に素晴らしいニュースがあります。来月、業界全体の発展を支援する新しいツールを当社のシステムと業界に導入する予定です。このツールは「オアシスインサイト」と呼ばれています。では、エリック、まずあなたからお話いただきたいのですが、リスナーの皆さんに「オアシスインサイト」とは何なのかをお話しいただけますか？ |
| Eric Jefferies | インサイトはレポート作成ツールであり、業界の改善を推進するだけでなく、これまでにない能力をもたらすものです。これまでは、どのようなスキームのもとで業務を行っているかに関わらず、レポートを受け取っても、その内容を理解する方法がわかりませんでした。オアシスインサイトは、貴社の品質管理システムのパフォーマンスと監査結果の意味を、新たなレベルで可視化し、理解できるようにします。 つまり、レポートを受け取っても、そこには「重大な指摘事項が2件、軽微な指摘事項が3件ありました」と書かれているだけで、それがパフォーマンスの観点から具体的に何を意味するのかはわかりません。 また、貴社と同業の企業や、貴社と似た他の企業と比較して、貴社がどのような位置づけにあるのかもまったくわかりません。そこで、インサイトを使用することで、各認証取得組織はパフォーマンス評価を得ることができます。これは、直近の審査のパフォーマンス評価にとどまらず、長期間にわたる履歴の表示と追跡が可能です。パフォーマンスが年々どのように向上しているか、あるいはどこを調整してさらなる改善を図る必要があるかを確認することができます。非常に興味深いツールですね。 |
| Susan Matson | そのようですね。グレッグ、ユーザーまたはこのツールやエリックが説明したレポートの受信者として、何か準備しておくべきことはありますか？ |
| Greg Fontaine | いいえ。私たちは、監査が実際どのように行われたかについてのインサイトを、基本的に監査後のセットとして提供します。また、単に「NCRがいくつあり、まだ認証されているか」というだけでなく、前進し改善していくためにそれを利用できるような文脈とツールを提供しようとしています。私たちは、これまでどこでも行われたことがないような方法で、監査に文脈を与えようとしています。 |
| Susan Matson | これはインサイト社内のさまざまな利害関係者向けに作られているように聞こえます。エリック、オアシスインサイトは誰のためにあるのでしょうか？ |
| Eric Jefferies | さまざまなグループに役立つでしょう。まず対象となるのは、認証取得企業自身です。なぜなら、先ほど申し上げたようなことを行うからです。企業が自社のパフォーマンスを理解し、そのパフォーマンスが同業他社と比較してどうなのかを把握するのに役立ちます。これが第一の対象です。しかし、他のサプライヤーを管理する組織にとっても役立つでしょう？ もしあなたが多数のサプライヤーを管理している場合、このシステムは、これまで得られなかったサプライヤーのパフォーマンスに関するインサイトを提供します。 もしあなたがサプライチェーンを管理しているなら、これはあなたにとって有益です。 認証企業であれば、あなたにとって有益です。認証機関や認証団体で、認証している企業についてより深いインサイトを得たいとお考えであれば、リスク評価や監査活動の調整の必要性という観点からも、このシステムは役立つでしょう。認証機関はすでに多くのデータにアクセスできる立場にありますが、それらをすべてまとめて、インサイトで提供されるようなより高度な分析を行う能力はこれまでありませんでした。また、認証機関は相対的なパフォーマンスを把握していませんでした。つまり、品質管理システムにおけるリスクとパフォーマンスの捉え方が大きく変わるということです。 |
| Susan Matson | 素晴らしい、ありがとうございます。グレッグ、今日に至るまでには多くの作業があったようですね。では、スケジュールやロードマップはどのようになっているのでしょうか？どのようにローンチするのでしょうか？いつローンチするのでしょうか？ |
| Greg Fontaine | そうですね、おっしゃるように、おそらく1か月程度のずれはあるでしょう。まだ一部の側面を調整中ですが、レポートは稼働しており、テストと分析も行われています。これは反復的な作業になります。最初のバージョンは出発点であり、監査にコンテキストを簡単に与えることができる非常に固定的なメトリクスを使用しています。しかし、今後は一連のバージョンが提供される予定です。私の予想では、今年だけでもインサイトレポートは少なくとも2回、おそらく3回は反復されるでしょう。このプロジェクトは1年近く前から進められており、間もなく一般公開し、フィードバックを収集し、その他の利用方法についても検討する予定です。そして、今後1年間にわたって、このプロジェクトを継続的に改善していくつもりです。 |
| Susan Matson | 非常に価値がありそうですね。エリック、お聞きしたいのですが、これには料金がかかるのでしょうか？ |
| Eric Jefferies | オアシスインサイト には特定の料金は発生しませんが、今後はインサイトを得るだけでは済まなくなるでしょう。インサイトを、当社の組織が利益を得て改善を推進するのに役立つ他のいくつかのものと組み合わせる予定です。インサイトやその他多くのことをカバーするデジタルイノベーション料金が将来的に発生する予定です。これらのものがどのように組み合わさるか、また、何がすべてに含まれるかについては、今後さらに詳しい情報を提供する予定です。ただし、インサイトのみに対する特定の料金は発生しません。 |
| Susan Matson | また後日、別のポッドキャストを配信するようです。この情報への参加は任意ですか？ 受け取りたいかどうかを選択できるのでしょうか？ |
| Eric Jefferies | そうですね、この場合は、すべての人に利益をもたらすものです。自動的に展開されるものですので、リクエストしたり、何かをする必要はありません。監査後に自動的に提供されます。これは全員に利益をもたらします。全員がこれを見ることができます。または、これを利用することができます。つまり、レポートのどの要素を誰が見るかについては、ある程度の管理は可能ですが、自動的に入手できるということです。ですから、これを望まないという選択肢はありません。 |
| Susan Matson | 誰がそんなことを言うのか分かりませんが、おそらくその質問をする必要があったのでしょう。そして、あなたはこれの価値について触れました。つまり、私たちが何を行い、どのように業務を行っているかについてのデータを得ることは、常に価値があるということです。しかし、業界レベルで考えてみましょう。この情報が手元にあることで、業界としてどのようなメリットがあるのでしょうか？ |
| Eric Jefferies | つまり、監査から得られる価値を証明する上で、これは大きな変化です。これまで、監査の価値を定量化したり、改善が必要な特定の事項を特定するのに役立つデータセットを用意したりする方法はありませんでした。まだお話ししていなかったことのひとつに、スコアリングがあります。主なNCR、軽微なNCR、繰り返し発生するNCRなど、特定の主要カテゴリーにおける結果が得られます。これまでは報告できなかった内容です。つまり、これらすべてが得られるわけですが、これらのすべてが、当社の他のリソースの一部とリンクすることになります。例えば、3件のNCRがあったという報告を受け取った場合、その報告書内に、それらの特定のトピックに関連する改善を推進するためのリソースへのリンクが含まれています。 そこで、サプライチェーンマネジメントハンドブックへのリンクを貼ります。 AIMMツールへのリンクを貼り、サプライヤーや認証取得組織が特定の既知のベストプラクティスを推進できるようにします。つまり、自分だけで「どう対応すべきか考えなければ」と悩むのではなく、IAQGが改善を推進するために役立つと認めているものを実際にリンクするのです。ですから、これまでなかった数値を入手する以上のことが可能になり、有益です。当社の製品すべてをリンクし、人々がより良いソリューションを見つけられるようにするのです。継続的な改善を推進するために。 |
| Susan Matson | これは、皆にとって大きな前進のようですね。グレッグは、実際に誰がこれにアクセスするのでしょうか？どこでこの情報を入手するのでしょうか？ |
| Greg Fontaine | オアシスインサイトレポートは、審査が終了した時点で作成されます。これは、認証機関が審査結果を公表し、最終審査報告書を作成するのと同時です。当初は、サプライヤーのファイルエリアに置かれる予定です。そのため、最初のロールアウト時にはサプライヤー以外の方には表示されません。しかし、サプライヤーのファイルエリアには、以前のすべての監査ファイルとともに生成されますが、これは当初は監査記録の外側になります。最終的には、レベル2のデータに表示されるようにする予定です。これにより、監査自体にアクセスできる方は誰でもオアシスインサイトレポートにもアクセスできるようになります。しかし、初期の段階では、サプライヤーがそれに慣れ、監査、つまりインサイトや評価、その他の内容がどのように表示されるかを確認できるようにしています。そして、最終的にはそれを変更する予定です。しかし、初期の段階では、サプライヤーは各自のファイルエリアにアクセスするだけで、オアシスインサイトレポートを見ることができます。 |
| Susan Matson | この展開に伴い、どのようなサポートが利用可能になるのでしょうか？ グレッグ、人々はいくつかの質問をするでしょう。 |
| Greg Fontaine  | もちろんです。実際のオアシスインサイトレポートでは、スコア化されたもの、情報的なもの、その他のものなど、さまざまな要素の説明がすべて記載されています。どのようなものか、どのようにスコア化されるか、といった説明が記載されています。また、グラフの左側に良いグラフ、右側に悪いグラフ、数値が高いほど良いといったことも記載されています。さらに、一番上、スコアリングの隣には、一般的な説明以上の詳細を知りたい場合に、オアシスナレッジベースのナレッジベース記事一式へのリンクがあります。レポートには、各情報に隣接して、ハイレベルな情報が含まれており、詳細情報を入手したい人には、詳細な情報も提供されます。 |
| Susan Matson | 次に、展開の進捗状況について、いつ、どこで、そのマイルストーン展開の情報を入手できるのでしょうか？ |
| Greg Fontaine | そこで、IAQGのメインウェブサイトには、さまざまなツールのページがあり、IAQGウェブサイトのツールエリアにオアシスのページが設けられ、立ち上げまでのさまざまな最新情報やその他の情報を提供します。 |
| Susan Matson | 完璧ですね。他にも聞きたいことはたくさんありますが、それはまた次のポッドキャストまで取っておきましょう。エリックさん、あなたはこれに少し手を付け始め、これはまだ始まりに過ぎないというニンジンをぶら下げました。この後、何が起こるのか、リスナーに少し感じさせていただけますか？ |
| Eric Jefferies | もちろんです。次のバージョンでは、リスク評価も含まれます。この最初の提供では、貴社が同業他社と比較してどの程度であるかが示されますが、まだ重み付けがされていません。そのため、全体的なパフォーマンスを評価する上で、重大なNCRや繰り返し発生する問題などの要素がより重要になるでしょう。次のバージョンでは、これらの要素が組み込まれる予定です。数値評価に加えて、リスク評価が得られます。おそらく、赤、黄色、緑などの色分け表示になるでしょう。まだ作業中ですが。今後のリリースはまだ確定していませんが、次の3つのバージョンについては現在検討中です。初期の提供で得られるものは、ほんの始まりに過ぎません。新しいリリースが出るたびに、さらに拡張されていくでしょう。 |
| Susan Matson | 素晴らしいですね。お時間を割いていただき、本当にありがとうございます。このフローアウトの仕上げに熱心に取り組んでいらっしゃることは存じております。お時間を割いていただき、また、皆さまと共有していただき、本当にありがとうございます。 |
| Greg Fontaine | これは、業界がこれまで収集してきた情報や、オアシスの新バージョンに投入されたすべてのものを活用し始めることになる、いくつかのデジタルプロジェクトの1つです。つまり、これはインサイトの始まりであるだけでなく、今後始まる多くのことの始まりでもあるのです。 |
| Susan Matson | 素晴らしいですね。エリック、グレッグ、ありがとうございました。ワクワクする内容ですね。そして、リスナーの方々も、このことについてもっと知りたいと思っているでしょう。なぜなら、グレッグがその「ニンジン」をちらつかせたからです。ぜひまたお越しいただき、もう少し詳しくお話いただきたいと思います。おそらく、この背景にある技術についてもお話いただけるでしょう。そして、オアシスインサイトについて、人々が実際に何を見ることになるのか、さらに重要なこととして、人々が何を見ることができなくなるのか、共有できるのか、共有できないのか、といったことについても見ていきたいと思います。エリック、グレッグ、お二人とお話しできるのはいつも楽しみです。スーザンマトソンがお送りしました。IAQG Quality Horizonをお聞きいただきありがとうございました。それではまた次回まで、どうぞお元気でお過ごしください。 |